

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム ゆう Bユニット	評価実施年月日	平成20年2月1日
評価実施構成員氏名	・小泉 はるみ ・尾藤 寿 ・鈴木 和枝 ・澁谷 みつる ・佐藤 芳江 ・古舘 真由美		
記録者氏名	村上 那奈子	記録年月日	平成20年2月15日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>『その人らしい生活を尊重し、悠、遊、優、友としていきる』。私達は自然豊かな大地で安らぎのある「家」として、この地に生きる人々を敬愛し、より良く生きる生活を創造いたします。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>利用者のケアプランの作成検討会やモニタリング、事例検討会で理念共有しながら、作成している</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>主に年間行事の中で花見、夏祭り、収穫祭、クリスマス等の催しの際、家族や住民の参加していただき、ホームの軸となる考えを伝えています。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>畑で採れた野菜や漬物を交換し好評していただいています。また漬物の新作情報提供になる場になっています。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会、班の行事等に役割を持って参加しています。</p>		
<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>主に年間行事の中で夏祭り、収穫祭は、広く多くの方参加していただき、飲食(無料)を利用者と共に催しを楽しんでいただいています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>外部評価の結果や運営推進委員会での意見を前向きに捉え是正しています。</p>		
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>2ヶ月に1回程度に実施しています。地域の介護事業としての位置づけで介護サービスにあたって、どのように期待されているか又は問題点を挙げ検討しています。</p>		
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>行政(保健福祉課)包括支援センター主催の連絡協議会に参加し、情報交換等連携を図る。</p>		
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>個々人の要望に当たって、関係者と連絡を密にし活用できる支援をしています。</p>		
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>お互い介護職に携わる者同士が監視しています。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用するご家族ご本人に対しては、不安のないようにホームを開放にいつでもきていただけるように工夫しています。契約の際、誤解のないように書類を持って説明し、疑問点について対応しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者への対応は、直ちにご家族と共に話し合いを設け、解決策を講じています。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>毎月のお便りや新聞発刊で利用者の暮らしぶりが分かるように報告しています。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族に面接、行事等で来訪する機会に近況報告しています。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定例会議の実施やカンファレンス等で意見交換し、利用者の支援に工夫しています。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>利用者の要望によって実施しています。(役場、買い物、床屋、葬式参列等)</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>毎日の申し送り、カンファレンス、定例会議で意見交換、学習会を設けています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	資格の無いか方は、資格を得られるように支援しています。計画的な取り組みとして介護新聞、雑誌を講読し知識にプラスになる配慮をしています。他に研修の案内がある場合は、参加できる機会を設けています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	包括支援センターでの連絡協議会に参加やグループホームの連絡協議会に参加しています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	喫煙場所を提供しています。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	スタッフの個人面接・評価を行い、待遇面で改善しています。	○	落ち込まない言葉かけを実施しています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	気軽に相談できる雰囲気づくりを工夫し、いつの時間帯でも対応できるようにしています。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	上記と同様に対応しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談の内容によって、情報提供しご本人が戸惑わないように対応しています。</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>ホームで雰囲気慣れていただけるように無料体験サービスで入居者との交流を図る。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>出来なかった事をマイナスに捉えるのではなく、できる事を認め合い本人が安心していられるように対応しています。</p>		
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者の要望によって実施しています。(役場、買い物、床屋、葬式参列等)近居報告を行い日常生活がその人らしい面を伝え安心出来るようにしています。又作品、スタッフ写真の笑顔を提示しています。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>家族の思い出話を取り上げ、利用者が和み一人きりではないという安心感をいただけるように工夫しています。</p>		
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの盆栽を持ち込み手入れを励みとしたり、利用者の親しい友人、隣人など受け入れ歓迎をしています。行事等にはお誘いのお便り発送しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	レクリエーション、調理、洗濯たたみ、掃除、ゴミ集め、買い物等日常生活で支え合い、映画鑑賞、音楽療法の交流を持ち仲間意識を抱けるように工夫しています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	年賀状のお便りで事業所の近況報告をしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	プランの見直し、モニタリングを実施しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ケアプランに基づくモニタリングを実施し、ご本人の意向を確認指定しています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日勤帯から夜勤帯(24時間)見守り、サービス提供を行っていますがその人への観察は主に言動、排泄、水分食事の摂取量、服薬、健康管理等について行います。それを個人の介護日誌に記録されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	毎月1回 介護職員、看護師、介護支援専門員で意見の交換をしてケアプランを作成実施している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	不定期にその都度変化が生じたら時点で朝のカンファレンスにより、話し合い変更をする。ご家族がその時に参加できないのが実情であります。その際できるだけ早くきていただいて説明と検討をしています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者ひとり一人の個人記録を記載し、送りやカンファレンスで情報を共有し一環した対応を実践している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	知人、ご家族等の面会については、時間制限することなく要望に応じています。また宿泊については、別部屋を用意しお泊いただけます。デイ棟の利用者さんとの交流も自然なかたちでおこなっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	在宅進委員会活動による映画鑑賞やその他、町夏祭り、子供吹奏楽団、太鼓演奏、よさこい祭りに見学参加しています。教育機関では、東川高校で3級ペルパの講義を講師として参加しています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	利用者、ご家族の意向によって、情報提供等または利用者の状態から考えて、その人に合ったサービスを提供できるような話し合いをもっています。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	包括支援センターにおいて、連絡協議会を定期的に設け学習会、情報交換、連携を図っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>43 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>常に2～3人の看護職員が医療協力機関および個人要望の医療施設との定期的受診で健康管理を行っています。</p>		
<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>44 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>専門医療機関の受診により、看護者が適切な相談ができるように対応している。</p>		
<p>○看護職との協働</p> <p>45 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>常勤、非常勤3名が健康管理や医療活用に対応しています。</p>		
<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>46 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>密に連携、相談をして治療が継続または問題が生じないように対応しています。</p>		
<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>47 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>ご家族とご本人、医師で十分な話し合いをし、今後の治療方針を看護、介護職員全員が共有して一環した介護を実施している。</p>		
<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>48 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>ご家族を通して、カンファレンス、担当者会議を実施終末期において、スタッフが戸惑われないようにケア(具体的な取り決め)を統一していきます。またご家族には、ホームで行う出来る事の限界を説明し看取りを希望する場合には、説明と同意を持って署名していただいています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>在宅に向けて自立・自律できるように支援しています。ご本人、ご家族との話し合いをもって生活に必要なお金の管理、食事の調理、服薬の管理、買物等に自信が持てるように行う。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>定例会議やカンファレンス、日頃の話し合い等から、職員同士で情報を共有し入居者を尊重した言動や行動にはいりようしている。又記録等も所定の場所にて管理している。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>日頃から入居者と話したり、表情や言動を観察して、その人の思いや気持ちを理解できるように努めている。また入居者が表現しやすいように、信頼関係をより良く気づけるように努めていきたい。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一日の流れのなかで午前・午後に活動することを利用者への呼びかけで行っている。また利用者の状態その人の反応によっては、利用者のペースに沿って行っています。</p>		<p>職員側の時間や都合で行動している状況もあるので全ての職員が入居者ひとり一人を理解するように努め義務的、作業的にならないように注意していきたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>利用者全員が個々人のお店を希望していません。むしろ安価でできるサービスを望んでいるので希望によって、配慮しています。</p>		<p>一部の入居者は希望に沿って理容、美容室へ外出しており、その他の入居者の状況や希望を把握し本人や家族とも話し合いながら、洋服、散髪等のおしゃれを楽しめるようにしていきたい。</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>家庭的な雰囲気をつくれるように、入居者と職員が協力して一緒に調理をしたり、食器を準備したり、洗い物や後片付けを行っている。季節に合わせてお菓子づくり等も一緒に楽しめるように支援しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>55 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>本人の持病や健康状態に合わせて、希望を考慮しながら一緒に買物へ行ったり、購入したりしながら、楽しめるように支援している。</p>		
<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>56 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>基本的にはトイレでの排泄を行っており、入居者それぞれの自立度習慣等を把握し、声掛けや介助を行っている。場合によってはリハビリパンツや尿取りパットを使用して支援している。</p>		
<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>57 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>一人で入る事の出来る人は、一人のうち希望に沿っていますが、殆んどの利用者は、介助を必要とします。毎日3~4名が限界の状態です。</p>		<p>入浴時は一人ずつ、ゆったりと気兼ねなく入れるように対応しているが、時間帯等は決まっている部分があるので出来るだけ、入居者の希望も受けられる検討していきたい。</p>
<p>○安眠や休息の支援</p> <p>58 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>それぞれの生活リズムや健康状態等配慮しながら安心して休んでいただける様に、声かけ見守りを行っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>59 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>日頃より、一人ひとりと話したり、観察する中から、趣味や特技等をつかみ、その力を活かせるよう、調理、清掃、園芸、手芸等を通して喜びや達成感等を支援しています。</p>		
<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>60 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入居者のそれぞれの理解力や自立度に合わせて、お金の所持や管理を考慮し、本人が管理出来ない場合でも話し合い検討しながら出来るだけ、希望に沿って買物に行ったり物品を購入し支援している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	町内や公園等への散歩、あずまの外気浴、畑作業、買物等入居者の要望へ応えられるよう対応している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	夏祭りや収穫際、お花見等、季節を感じ楽しんでいただけるイベントを企画実施している。ご家族や本人の希望に沿っていつでも一緒に外出できるように支援している。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話化したり、はがき等を用意し支援している。本人が困難な場合も電話を取り継いだり、代筆をしたりと状況により対応している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面接時や電話等での近況報告、新聞の発行、行事等の案内参加により、親睦を図り、いつでも気軽に立ち寄って過ごしていただける様に努めている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	地域包括支援センターでの会議参加によって、拘束、虐待防止の学習する機会がありますその参考資料を用いて定例会議などで理解を深めています。いかなる状況であろうと身体拘束は行わないという考えです。声掛けや対応方法に工夫をしながら取り組んでいます。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵を掛ける事は拘束の一つであることを全ての職員は理解している。徘徊により外出する危険のある入居者には職員同士で連携をとりながら、見守り、声掛けを徹底し取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>67 ○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>日中はユニットリーダーが中心に入居者の行動や居場所を把握している。居室内にいる場合も状況等を見ながら、声掛け、見守りを行っている。夜間も職員2人体制により巡回等で危険等がないように対応している。</p>		
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>刃物や針等は、預り保管をしています。必要な時に職員の見守りの元で利用していません。</p>		
<p>69 ○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>共用スペースには常に職員が配置しているので、食事、服薬、行動等には見守り、声掛けし本人が出来ない事には介助し対応している。居室において転倒等の危険がある方には、コールの利用や鈴の設置し声掛け、目配りをして事故防止に努めている。</p>		
<p>70 ○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>救急処置の講習会に積極的に参加させ、現場で訓練を行う。</p>		<p>講習会の参加や勉強会の実施により、全ての職員がしっかりと対応できるように、知識や技術向上のために取組んでいきたい。</p>
<p>71 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>定期的に防災火災訓練を年4回実施し、入居者が安心して暮せるように毎日防火点検をしている。全ての職員が連携し行動できるように努めている。</p>		
<p>72 ○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>加齢や身体的機能低下による生活の支障、認知症による起こり得る問題行動に関して、家族と話し合い、対応について検討している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝のバイタル等チェック、日中夜間を通して入居者の様子行動等を観察し、イベン等に気づいた時は、ホーム長、看護師へ報告している。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の文献は、スタッフが目の届くところに保管し、申し送り時には副作用等について、看護師が説明をして観察の理解を深めている。		服薬チェック表により、服薬の見守りや確認は行っているが全ての薬の内容までは理解していない職員も多いので資料等に日頃から、目を通し理解し対応していきたい。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排便チェック表や毎日の排泄の状況を観察、把握し食事や水分の摂取に気を配ったり、歩行や運動等の声掛けを行っている。ラジオ体操、毎朝食は玄米と繊維性の野菜を調理している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、声掛けやみ守りを徹底し、本人が困難な場合は介助にて行っている。義歯の方は、洗浄剤を使用し自己の管理が出来ない方は預り管理している。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事水分チェック表の記入、糖尿病や塩分制限等の方の食事メニューの変更調理、入居者の健康状態を把握している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。			疥癬、ノロウイルスについてはマニュアル資料等があり、理解し対応する事が出来る。インフルエンザは予防接種を実施。その他の感染症については、今後勉強会や資料の作成を行い全ての職員が対応できる様にしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○食材の管理</p> <p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>手洗いや調理用具、布巾等の殺菌、消毒を日頃より、行っており、冷蔵庫等の賞味期限の確認や週事の食材調達により、常に新鮮で安全な食材確保に努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>80 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関付近や建物周囲等には花や植物等を飾り、暖かい雰囲気をつくり、駐車スペースの確保、玄関等の施錠はせず、いつでも立ち寄ることが出来るようにしている。</p>		
<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>81 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>余計な物を置かず、歩行やくつろげぎの邪魔にならないように配慮し、植物を置いたり、季節事に合わせた作品を展示したり、穏やかに過ごしていただけるように努めている。</p>		
<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>82 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>談話室や食事、廊下、中庭前等にソファーや椅子を設置して入居者同士で談笑したり、一人一人でくつろげる空間をつくりは配慮している。</p>		
<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>83 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前より、本人と家族の方と相談したり、一人でくつろげる空間をつくり、配慮している。</p>		
<p>○換気・空調の配慮</p> <p>84 気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>温度計や湿度計を確認し暖房設備や歓喜をして調整し、入居者が快適に過ごせるように努めている。汚染等は必ず新聞で包み、所定の場所に破棄し、匂い対策も行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>視界を避ける物や危険になるものがないか、確認し広く安全な空間づくりに努め、かつ職員が入居者の行動を見守りやすい状況をつくるように意識している。</p>		
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>トイレの場所がわかるように、大きな文字や写真を表示したり、それぞれの居室には、本人や家族の写真、愛着のある物を展示し安心して暮せるように支援している。</p>		
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>畑で農作物や花を植えたり、観賞して楽しまれている。東屋で外気浴をしながら、ふれあいの場として過ごしている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 昨今、報道にありますように食の安全について当事業所は設立当初から健康づくりは、食からという考えをつよく拘りをもって取り組んでいます。米は、事業所独自の田んぼでつくり、朝は玄米としています。野菜は、自作農園で無農薬のものを収穫しています。味噌は、無添加の国産大豆のものを賞味しています。